

令和4年度 第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和5年2月24日（金）午後2時から午後3時00分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 石川 洋子 被保険者代表 柘植 由紀子 介護サービス利用者代表 松山 陽二 介護サービス事業者代表 原口 浩美 保険関係者 木下 雅盟 医療関係者 野々山 郁 医療関係者 磯村 敏文 福祉関係者 制野 司 学識経験者
傍聴者	なし
事務局	高齢者支援課4名 東郷町北部地域包括支援センター1名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑1名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 令和3年度東郷町地域包括支援センター事業評価について 3 議題 (1) 令和5年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について (2) 令和5年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について (3) 令和5年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について
配布資料	次第 資料1 令和3年度東郷町地域包括支援センター事業評価について 資料2 令和5年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案） 資料3 令和5年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案） 資料4 令和5年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 令和3年度東郷町地域包括支援センター事業評価について

事務局	資料説明。資料1～4
会長	事務局より説明を頂いた。何か質問、意見はあるか。 資料1の項目2、権利擁護業務について、今年度は評価基準に達していなかったようだが、何か進んでおり次年度は達するという事で間違いないか。

事務局	実施要綱について、既に施行されている。しかし、両包括支援センターに共有が出来ていなかった。すぐに共有する。次年度以降達成するという事で間違いない。
委員	事務局よりレーダーチャートを用いて説明があった。レーダーチャートが標準よりを超えていれば良い、悪いというだけではない。大学でも資料を作成している。研究を10回行っても0点だが外部講師を1度行っただけで10点つくものがある。レーダーチャートにすると中身が分からなくなる。どちらが評価として重要なのか。しかし、評価の指標とは極めて数字に影響されやすい。包括の力を十分に発揮して、全国数値に近づけるようにしてほしい。

3 議題

- (1) 令和5年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について
- (2) 令和5年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について
- (3) 令和5年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について

事務局	資料説明。資料2
北部包括	資料説明。資料3
南部包括	資料説明。資料4
委員	計画をみるとボリュームがある。昨年度も同様の質問をしたが、センターとして負担はないのか。無理をしないのも大事な事だが。
南部包括	南部はまだできて4年であり、知名度が低い。未だに北部に相談に行く人もいる。とにかく顔を知ってもらうために通いの場へ月10回は定期巡回をしている。大変だが、今が頑張りどきである。
委員	無理をしすぎると計画で出された回数で評価できなくなる。今はとにかく名前を覚えてもらうとの事なら無理のない範囲で。 両包括とも電子@連絡帳で情報交換するなどの記載があるが、次年度にむけて現状で出来ていないこと、出来ていることは何か。
南部包括	初期集中支援推進事業等において、医師や理学療法士と情報の共有をしている。困っているのは訪問歯科について。FAXや電話等が中心となってしまっており、業務のあいまに連絡をしていただいても包括が不在であったりするとすれ違いがおこってしまう。いつでも情報を見られるように電子@連絡帳の活用が普及ができるとよい。
北部包括	整備について、新規職員のアカウントを作成し、使用方法については指導している。在宅ケアを考える会についての連絡に電子@連絡帳を利用している。しかし、参加者の利用率が100%でないため、悩ましい。また、新しい事業所が出来た際には、使用してもらえる様に説明を行うようにしている。 利用する事業所に偏りがあることが課題である。もう少し広がることで、利便性を感じられるのではないかと。普及啓発が足りていない。
委員	相談窓口としての役割があるのであれば、普及啓発は重要である。
委員	(資料3の2-1、①実態把握のサービス未利用者について) 南部包括のサ

	<p>サービス未利用者について、サービスを使わない人は、サービス利用する必要性を感じていないこと、使い方が分からないから利用していないのではないか。未利用者の人はどのような人なのか。</p>
南部包括	<p>未利用者は例えば、骨折してサービスを使っていたが治癒した人がいるが、治療後も精神的な面で継続して利用する人がいる。あとは認知症の人は自分が困っていることを正しく困っていると認識できていない。家族も理解が得られないため、サービスの利用に繋がらない。</p>
委員	<p>電子@連絡帳について、共有についてかなり高い数値。だが、コロナの時期に通知がすごく多く、通知を OFF にしたまま利用している先生もいる。今は SNS が発達しているため、アップロードに躊躇が無いかもしれないが、患者の情報は本来はクローズドのため躊躇している先生もいる。コロナは収束しているが直接会うのは難しい。会わずに情報を共有できるのは大変便利である。さらに普及啓発をしてほしい。</p>
会長	<p>外部のサービスを有効に利用するのも重要である。 他に意見が無いようなので議題について終了とする。 全体に対して意見はあるか。 無いようなので、事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>今年度の地域包括支援センター運営協議会はこれが最後である。来年度の 1 回目に関しては令和 5 年 6 ～ 7 月を予定しており、各地域包括支援センターの実施実績等を報告する予定である。決定次第また報告する。 本日はこれで以上とする。ありがとうございました。</p>

以上